

発表事項 1

令和6年6月7日

連絡先

議会事務局 企画法務課 企画広聴班
担当者：和田、大谷
電話：059-224-2877
FAX：059-229-1931

令和6年度三重県議会インターンシップ実習生を募集します

1 目的

大学院で、公共政策に関連する研究を行っている学生を、インターンシップ実習生として受け入れ、実習生の知見を活用した客観的な視点から、議会の在り方等に対する提案・意見を受けることにより、三重県議会における監視機能の強化、政策立案及び政策提言の充実等に資するとともに、学生のキャリア形成の支援及び地方公共団体における議会の役割に関する理解の増進を通じて、地方自治の課題に的確に対応し、地方分権の推進に資する実践的能力を有する人材を育成することを目的とします。

2 実習期間

- ・令和6年9月頃の2週間程度（実習日数は平日の最大10日間）
※実施日、日数は実習生の希望に沿って調整

3 受入対象者

- ・公共政策に関連する研究を行っている大学院の学生2名以内

4 実習内容

- ・当県議会の取組及び各課の業務内容のガイダンス、本会議等の傍聴等
- ・議員との意見交換
- ・その他、議会事務局関連業務

※実習終了後、三重県議会に対する提案を報告していただきます。

（別途日程を調整して公開で実施。実習生からの希望があればWeb会議でも対応します。）

5 実習場所

- ・三重県議会事務局（三重県津市広明町13番地）

6 募集等

- ・募集期間は、令和6年6月7日（金）から令和6年7月5日（金）までとします。
- ・三重県議会は、大学院を通じて実習生を公募し、応募書類に基づき受け入れる実習生を決定します。
- ・実習生が在籍する大学院と三重県議会は、実習生の受入れに関する覚書を締結します。実習生は、事前に、遵守事項に係る誓約書を三重県議会に提出します。

7 参加経費等

- ・実習に必要な経費(交通費、滞在費、食費、保険料等)は、実習生又は大学院が負担します。受入れに際しては、災害傷害保険及び賠償責任保険に加入していることを条件とします。なお、実習生に対しては、実習後に三重県議会に対する提案への御礼として、37,000円を上限とした謝金(謝金=実習日数×3,700円)を支払います。

8 服務

- ・実習生は、地方公務員の身分は保有しません。
- ・実習生は、原則として職員の服務に準ずるものとし、指導員の指導、監督等に従うこととします。
- ・実習生は、実習期間中に知り得た秘密について、実習期間中及び実習期間終了後においても部外者(大学院を含む。)に漏らしてはなりません。
- ・実習生は、公務の信用を傷つけ、又は公務全体の不名誉となるような行為を行ってはなりません。
- ・三重県議会は、実習生が服務等に従わない場合又は実習を継続しがたい事由が生じた場合、当該実習生についての実習を打ち切ることができるものとします。

参考：受入実績

・平成21年9月	(10日間)	京都大学公共政策大学院から2名
・平成22年8～9月	(10日間)	京都大学公共政策大学院から2名
・平成23年9月	(9日間)	東京大学公共政策大学院から1名
〃	(10日間)	京都大学公共政策大学院から1名
・平成24年9月	(9日間)	東京大学公共政策大学院から1名
〃	(9日間)	京都大学公共政策大学院から1名
・平成25年9月	(8日間)	京都大学公共政策大学院から1名
〃	(8日間)	北海道大学公共政策大学院から1名
・平成26年9月	(9日間)	北海道大学公共政策大学院から1名
・平成27年9月	(10日間)	京都大学公共政策大学院から1名
〃	(10日間)	北海道大学公共政策大学院から1名
・平成28年9月	(10日間)	北海道大学公共政策大学院から1名
・平成29年9月	(6日間)	同志社大学公共政策大学院から1名
〃	(10日間)	北海道大学公共政策大学院から1名
・平成30年9月	(8日間)	京都大学公共政策大学院から1名
・令和元年9月	(9日間)	三重大学大学院から1名
・令和2年度	—	(新型コロナウイルス感染拡大により中止)
・令和3年度	—	(新型コロナウイルス感染拡大により中止)
		※選定：東京大学公共政策大学院から1名 北海道大学公共政策大学院から1名
・令和4年9月	(10日間)	三重大学大学院から1名
・令和5年9月	(10日間)	京都大学公共政策大学院から1名